

令和元年度
事業報告書

(公財)福岡県動物愛護センター

目 次

第1 法人運営

1 評議員会の開催	1
2 理事会の開催	1
3 評議員及び役員に関する事項	2
4 組織及び職員構成	3

第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業	4
2 ペット相談事業	12
3 調査研究事業	14
4 動物愛護・管理支援事業	26
5 動物愛護週間事業等	31

第1 法人運営

1 評議員会の開催

(公財)福岡県動物愛護センター(以下「センター」という)の運営事項を決定するため、次のとおり評議員会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回	令和1.5.15	(書面決議)	1 理事1名の選任の件	原案のとおり決議
第2回	令和1.6.12	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 平成30年度決算及び監査報告について 2 役員の選任について	原案のとおり決議

2 理事会の開催

センターの運営事項を決定するため、次のとおり理事会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回	令和1.5.7	(書面決議)	1 第1回評議員会の書面による決議の件	原案のとおり決議
第2回	令和1.5.15	(書面決議)	1 理事長、常務理事の選定の件	原案のとおり決議
第3回	令和1.5.28	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度決算及び監査報告について 3 専決処分について 4 令和元年度第2回評議員会の開催について	原案のとおり決議
第4回	令和1.6.12	(書面決議)	1 理事長、常務理事の選定の件	原案のとおり決議
第5回	令和2.2.18	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和元年度補正収支予算について 2 令和2年度事業計画について 3 令和2年度度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案のとおり決議

3 評議員及び役員に関する事項

(1) 評議員

令和2年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	摘要
評議員	大森 徹	平 29. 4. 25	福岡県保健医療介護部長
評議員	草場 治雄	平 25. 4. 1	(公社) 福岡県獣医師会会長
評議員	坂本 慎二	平 30. 10. 3	(公社) 福岡県生活衛生営業指導センター理事
評議員	櫻内 京子	平 25. 4. 1	(公社) 日本愛玩動物協会福岡県支所長
評議員	林 泰輔	平 30. 10. 3	(一社) 九州動物福祉協会事務局長

(2) 理事

令和2年3月31日現在

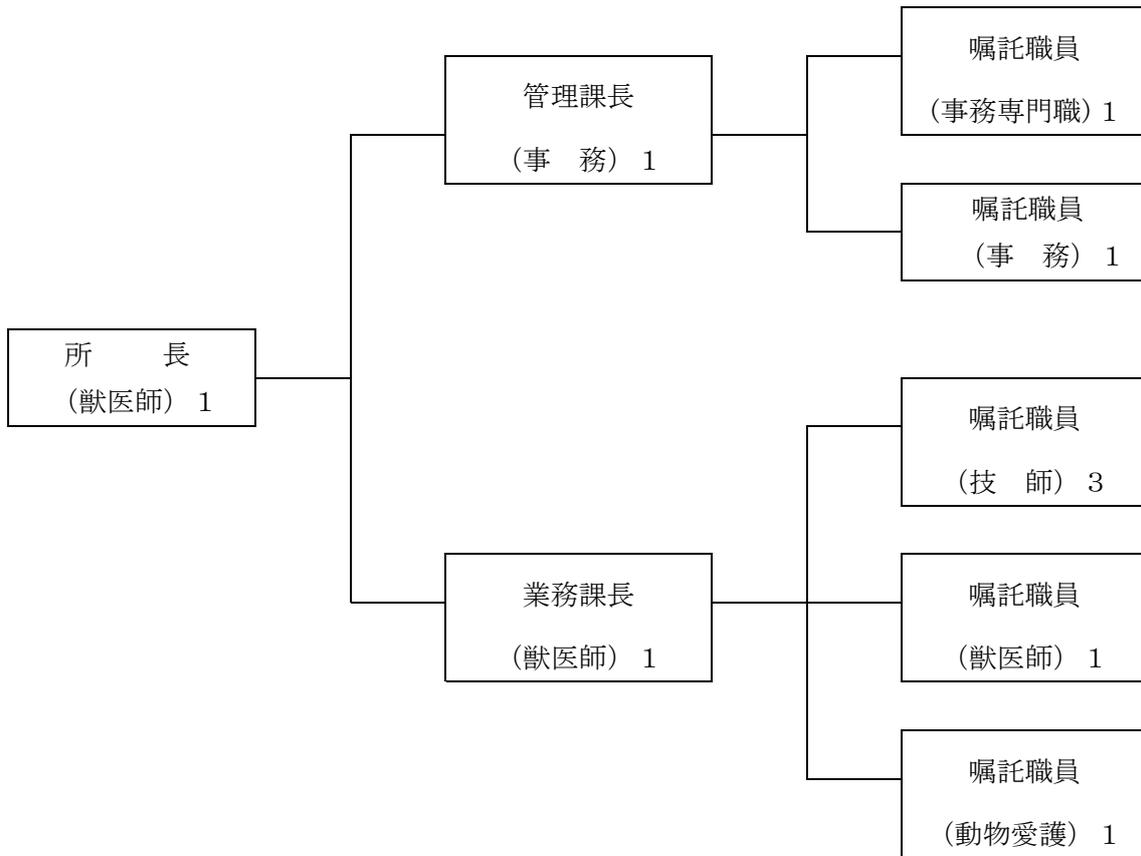
役職名	氏名	就任年月日	摘要
理事長	田村 聡	令 1. 5. 15	福岡県保健医療介護部食の安全総合調整監兼生活衛生課長
常務理事	真鍋 修一	令 1. 5. 15	(公財) 福岡県動物愛護センター所長
理事	小野 教子	平 25. 4. 1	フリーライター 元ドッグマンス実行委員会代表
理事	小山 幸江	平 27. 6. 16	元当センター業務課長 当センターボランティア
理事	中岡 典子	令 1. 6. 12	福岡県獣医師会いのちをつなぐ委員会委員長
理事	山根 明弘	平 29. 6. 27	西南学院大学人間科学部教授
理事	横田 昌宏	平 27. 5. 13	古賀市副市長

(3) 監事

令和2年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	摘要
監事	井上 久信	令 1. 6. 12	井上久信税理士事務所所長

4 職員構成（令和2年3月31日現在 10人）



第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業

(1) 学生への研修及び実習

ア 動物関係専門学校生への研修及び実習

動物関係の専門学校の学生に対して、センター業務、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、動物由来感染症、犬のしつけ及び動物福祉等に関する研修及び実習を行い、同時に、将来動物関係の仕事に携わる中で、飼い主等に対する啓発をお願いした。

期 間	内容及び参加者	
6月27日(木) 午前の部	研修	福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 55名
6月27日(木) 午後の部	研修	福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 59名
12月 5日(水)	研修	専門学校九州スクールオブビジネス ペット学科 51名

イ 中学生への研修及び実習

センター業務、動物関係法令、犬や猫の健康管理法及び犬のしつけ方等に関する研修及び実習を行った。

期 間	内容及び参加者
9月9日(月)～13日(金) 5日間	職場体験学習「ドリームステージ」 古賀市立古賀東中学校生徒 5名

(2) 施設見学者への啓発

ア 施設見学の受入れ

一般の施設見学者に対して、センターの事業概要の説明、及び動物愛護に関する啓発を行った。

・受入状況

単位：名

講習会 見学者	動物愛護 団体	小中学生	専門学校 高校生	行政関係 愛護推進員	一般 来場者	合計
7 (25)	8 (10)	5 (6)	165 (141)	39 (29)	693 (680)	917 (891)

※ () は平成30年度の実績、以下同様

イ センターオープンデーの開催

○ 開催状況

月日（曜日）	参加団体数	一般来場数	参加犬猫数	（登録）ボランティア数
5月19日（日）	11団体	236名	58頭	18名
（5月20日（日））	（8団体）	（226名）	（64頭）	（12名）

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター
- ・ 時間 10:00～15:00
- ・ 内容 「動物と共に生きるために」をテーマに、センター譲渡犬の里帰り会や犬猫の迷子札作り等を行った。また、センターのマスコットキャラクターの愛称決定表彰式も開催した。

ウ テレビ、広報等による啓発

(ア) センターオープンデー開催予定記事掲載

- a センターホームページ及びセンターフェイスブック
- b 福岡県動物愛護推進協議会ホームページ
- c 毎日新聞（5月9日朝刊）掲載

(イ) センターオープンデーの取材

開催当日、(株)TVQ九州放送から取材があり、当日ニュースで放映された。

(ウ) 犬のしつけ方教室の取材

RKB「福岡県庁知らせた課」の取材があり、6月16日に放映された。

(エ) その他

センターインスタグラムによる情報発信開始

(3) 犬のしつけ方教室

犬の適正飼養や犬とのより良い関係づくりを啓発し、模範的な飼育者及び模範犬の育成を図ることを目的として、犬の習性、行動や心理に関する情報を提供しながらしつけ方の指導を行う「犬のしつけ方教室(一般コース、子犬コース)」を実施した。

また、子犬コースに参加し、全レッスンを終了した飼い主と犬を対象としたフォローアップ講習会「ワンパク同窓会」を開催した。

ア (公財) 福岡県動物愛護センター主催

(ア) 一般コース

○ 開催状況

月日(曜日)	受講者数・組数	(登録) ボランティア	モデル犬
4月21日(日)	8名・3組	7名	4頭
6月16日(日)	3名・1組	8名	3頭
7月21日(日)	8名・4組	4名	3頭
8月18日(日)	4名・2組	8名	8頭
10月20日(日)	16名・5組	4名	1頭
11月17日(日)	11名・4組	3名	1頭
12月15日(日)	6名・3組	4名	1頭
1月19日(日)	1名・1組	4名	3頭
2月16日(日)	11名・5組	8名	5頭
3月15日(日)	5名・3組	6名	5頭
計	73名・31組 (115名・49組)	56名 (67名)	34頭 (39頭)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 時間 日曜日: 13:00~15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
 - (a) 講義 センターの業務、しつけの必要性、犬の習性と性質、犬の社会化、不妊去勢手術、しつけの基本、良い遊びと良くない遊び、犬のことは、問題行動の背景と対処方、しつけグッズの紹介等
 - (b) モデル犬の実演 犬と飼い主の関係づくり、オスワリ、フセ等

(イ) 子犬コース

○ 開催状況

月日 (曜日)	内容	受講者数	同伴犬	(登録) ボランティア
6月 6日 (木)	講義	8名		6名
6月13日 (木)	実技1	10名	4頭	11名
6月20日 (木)	実技2	12名	4頭	12名
9月 5日 (木)	講義	5名		3名
9月12日 (木)	実技1	4名	1頭	4名
9月19日 (木)	実技2	4名	1頭	9名
11月 7日 (木)	講義	7名		3名
11月14日 (木)	実技1	7名	6頭	8名
11月21日 (木)	実技2	6名	6頭	9名
3月12日 (木)	講義	7名		
3月19日 (木)	実技1	9名	3頭	8名
3月26日 (木)	実技2	9名	3頭	6名
合計		88名 (79名)	28頭 (30頭)	79名 (77名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター (大会議室)
- ・ 時間 (講義) 13:00~15:30 (実技) 13:30~15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
 - (a) 講義 センターの業務、犬との暮らしの基本、遺伝と環境、犬の学習方法、犬と飼い主の関係作りプログラム、犬のストレス等
 - (b) 実技 アイコンタクト、オスワリ、マテ、フセ、オイデ、ゲーム等

(ウ) ワンパク同窓会

○ 開催状況

月日 (曜日)	参加者数	同伴犬	(登録) ボランティア
4月24日 (木)	30名	22頭	6名
10月30日 (水)	36名	27頭	11名
合計	66名 (69名)	49頭 (51頭)	17名 (13名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター (駐車場及び大会議室)
- ・ 時間 13時30分~16時00分
- ・ 対象 犬のしつけ方教室子犬コースを修了した飼い主と愛犬
- ・ 内容 飼い主のスキルアップ、モデル的飼い主の組織としての情報発信。
具体的には、近況報告、実技、ゲーム、ミニ講座等。

イ 市町村主催

主催者の依頼により、次のしつけ方教室へ職員を派遣した。

(ア) 那珂川市主催

- ・ 開催日時 11月9日(土) 9:30~11:30
- ・ 開催場所 那珂川市役所 第2別館大会議室
- ・ 受講者数 6名

(イ) 春日市主催

- ・ 開催日時 2月4日(火) 13:30~16:00
- ・ 開催場所 春日まちづくり支援センター ぶどうの庭
- ・ 受講者数 15名

(4) 猫の適正飼養に関する普及啓発

- ・ 「猫と幸せに暮らすための講座」

完全室内飼育、不妊去勢手術の実施等、適正な飼養方法を広く普及啓発することを目的に実施した。

○ 開催状況

単位：名

月日 (曜日)	5月29日 (水)	7月10日 (水)	9月15日 (日)	11月13日 (水)	合計
受講者数	4	6	2	6	18

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 時間 13:30~15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容 猫をとりまく現状、猫の習性の理解、猫のニーズを満たす、猫のストレスサイン、なぜ、完全室内飼育なの？猫の病気と健康管理、猫の不妊去勢手術の必要性、完全室内飼育のためのポイント、トイレのしつけ、猫の食事、お手入れ等

(5) 動物愛護教室事業

○ 開催状況

単位：名

月日(曜日)	時間	大人	子ども	(登録) ボランティア
7月24日(水)	10:00~11:30	7	17	3
8月21日(水)	10:00~11:30	5	10	4

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童
- ・ 内容 動物の気持ち、動物と楽しく暮らすための約束、動物の役割等

(6) 譲受団体研修会

- ・ 開催日時 7月23日(火) 13:30~16:30
- ・ 参加団体 14団体25名
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 対象 登録の譲受団体
- ・ 内容 登録譲受団体への平成30年度譲渡状況及びセンターにおける人材育成の充実強化等について話し合った。

(7) ボランティア研修会

ア 新規ボランティア研修会

○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	受講者数	登録可	登録済
4月3日（水）	8	8	8
6月5日（水）	1	1	1
8月7日（水）	1	1	1
10月2日（水）	3	3	3
12月4日（水）	5	5	5
2月5日（水）	2	2	2
合計	20 (13)	20 (13)	20 (13)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 9：00～11：30
- ・ 対象 センター事業を支援する意思のある方
- ・ 内容 ボランティアに必要な事項等の指導
- ・ 新規ボランティア登録者 20名

(参考) ボランティアの活動状況

ボランティア活動の動物愛護事業名	事業回数	参加人数 (延)	反省会及び 意見交換会
これから犬を飼う人のための講習会	22回	121名	22回
動物愛護フェスティバル	1回	9名	1回
犬のしつけ方教室	一般コース	10回	56名
	子犬コース	12回	79名
ワンパク同窓会	2回	17名	
動物愛護教室	2回	7名	
ボランティア・譲受団体研修会	1回	15名	1回
ボランティア研修会	3回	50名	
センターオープンデー	1回	18名	
日常のお世話（散歩、シャンプー、手入れ等）	24回	53名	
合計	78回	425名	45回

イ ボランティア勉強会

- (ア) 第1回 7月31日(水) 13:30~15:30
内容 犬のトレーニングについての勉強会
参加人数 22名
他に登録譲受団体2名
- (イ) 第2回 10月24日(木) 13:00~15:00
内容 カーミングシグナルとその対処法
参加人数 14名
他に登録譲受団体3名
- (ウ) 第3回 12月18日(水) 13:30~15:30
内容 コミュニケーションスキルとカウンセリングの注意点について
参加人数 14名

ウ ボランティア及び譲受団体合同研修会

- ・ 開催日時 11月28日(木) 13:30~16:00
- ・ 参加人数 譲受団体 7団体11名
参加ボランティア 15名
他に保健福祉環境事務所職員 4名
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 内容 講演「動物たちの幸せを考える」
講師:当センター理事 小山 幸江氏(元センター業務課長)

(8) 動物愛護に関する行政機関との連携事業

ア 動物行政担当者研修会及び情報交換会

動物愛護事業について、福岡県内各保健福祉(環境)事務所の動物行政担当者と連携を図るために、次の事業を行った。

(ア) 研修会

- ・ 日時 7月8日(月) 13:30~16:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 参加者 14名

(イ) 情報交換会

- ・ 日時 2月14日(金) 13:30~16:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 参加者 13名

イ 愛護動物同行避難訓練

福岡県主催の防災訓練時に、福岡県獣医師会等関係団体と連携して、災害時の同行避難訓練等を実施した。

(ア) 福岡県総合防災訓練

- ・ 日時 6月2日(日) 9:00~12:20
- ・ 場所 大江小学校体育館(みやま市)
ローム・アポロ(株)グラウンド(八女郡広川町)
- ・ 内容 講和「災害時の備えとしつけの必要性について」

(イ) 福岡県原子力防災訓練

- ・ 日時 11月30日(土) 10:30~13:30
- ・ 場所 久山町勤労青少年ホーム
- ・ 内容 飼い主及び飼い犬の同行訓練実施

ウ 福岡県内動物愛護(管理)センター会議

- ・ 日時 1月31日(金) 14:00~17:00
- ・ 場所 福岡市東部動物愛護管理センター(大会議室)
- ・ 参加者 10名

エ 動物愛護推進協議会に対する動物愛護事業の支援

○ 飼い主マナーアップキャンペーンイベント(推進協議会粕屋支部主催)

- ・ 日時 11月5日(火) 13:30~15:00
- ・ 場所 イオンモール福岡
- ・ 内容 犬猫の適正飼養推進の啓発

2 ペット相談事業

ペット等に関する相談を電話やセンター窓口において受け付けた。

犬は譲受を希望する問い合わせが一番多かったが、猫に関しては、野良猫へのエサやりや、野良猫が子猫を産んでいるなど野良猫の苦情に関する事が多かった。

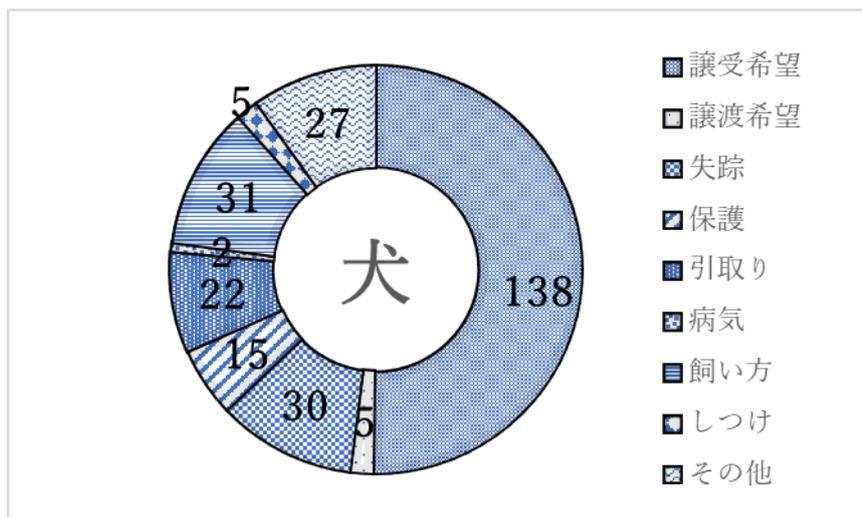
犬、猫ともに失踪に関する問い合わせに対しては、鑑札、迷子札等の装着の必要性についてアドバイスしている。

(1) 相談件数 563件 (犬275件、猫276件、その他12件)

(2) 相談内容 単位：件

相談内容	犬の件数	猫の件数
譲受希望	138	28
譲渡希望	5	14
失踪	30	23
保護	15	73
引取り	22	21
病気	2	0
飼い方	31	18
しつけ	5	0
その他	27	99

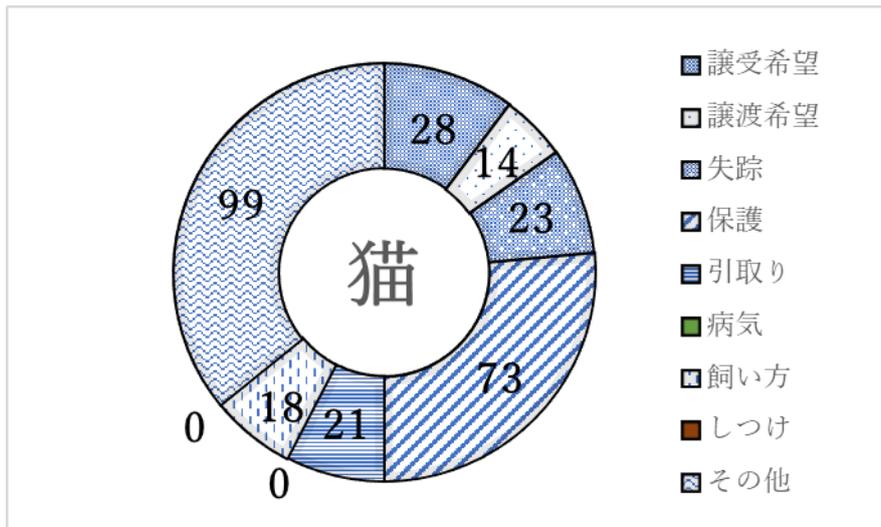
ア 犬の相談内容



○犬のその他の主な内容

- ・捕まえてほしい
- ・登録と狂犬病予防注射
- ・HPの収容犬について等

イ 猫の相談内容



○猫のその他の主な内容

- ・野良猫へのエサやりに関する苦情相談
- ・野良猫が子供を産んだ
- ・捨て猫がいる
- ・野良猫の不妊去勢手術の助成等

ウ 犬及び猫以外の主な相談内容

- ・ボランティア希望
- ・動物愛護団体に関する問い合わせ
- ・寄付に関する問い合わせ
- 等

3 調査研究事業

(1) 譲渡犬の飼養実態調査

ア 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した犬の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、次のとおり追跡調査を実施した（譲渡1年後）。

- (ア) 対象及び件数 平成30年度譲渡犬の飼養者26名（♂13頭、♀13頭）
- (イ) 期 間 令和元年4月～令和2年3月
- (ウ) 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- (エ) 内 容 「飼養状況アンケート」
- (オ) アンケート回収数（率） 24件（92.3%、 ♂13 ♀11）

イ 調査結果（単位：％）

(ア) 現在の健康状態{N=24}

- 健康・・・ 22件（91.7%）
- 譲渡・・・ 0件（0.0%）
- 死亡・・・ 0件（0.0%）
- 失踪・・・ 1件（4.2%）
- 回答なし・・・ 1件（4.2%）

[現在の体重]

- ～ 5.0kg・・・ 2頭（8.3%）※小型の成犬です。
- 5.1kg～10.0kg・・・ 6頭（25.0%）
- 10.1kg～15.0kg・・・ 9頭（37.5%）
- 15.1kg～20.0kg・・・ 5頭（20.8%）
- 20.1kg～・・・ 0頭（0.0%）
- 回答なし・・・ 2頭（8.3%）

(イ) 飼育の目的〔複数回答〕

[以降N=24 ♂13 ♀11]

- 家族として・・・ 24件（100.0%）
- 番犬・・・ 1件（4.2%）
- 愛玩用・・・ 1件（4.2%）
- 子供の教育用・・・ 1件（4.2%）
- その他・・・ 1件（4.2%）

(ウ) 飼育場所〔複数回答〕

- 家の中で・・・ 18件（75.0%）
- クサリで繋留・・・ 5件（20.8%）
- 囲いの中で・・・ 2件（8.3%）
- 庭で放し飼い・・・ 2件（8.3%）
- その他・・・ 6件（25.0%）

(エ) 狂犬病予防法に基づく登録・注射は

○受けている・・・ 23件 (95.8%)

○受けていない・・・ 1件 (4.2%)

※理由：春の集合注射で受ける予定 (11月に子犬を譲渡)

(オ) 主に犬の世話をする人は [複数回答]

○妻・・・・・・・・ 11件 (45.8%)

○夫・・・・・・・・ 7件 (29.2%)

○子供・・・・・・・・ 0件 (0.0%)

○家族全員・・・・ 13件 (54.2%)

(カ) 犬の運動は [複数回答]

○特にさせていない・・・ 0件 (0.0%)

○庭で追い放し・・・・・・・・ 2件 (8.3%)

○引き綱で運動・・・・・・・・ 23件 (95.8%)

○ドッグラン・・・・・・・・ 2件 (8.3%)

○その他・・・・・・・・ 6件 (25.0%)

(キ) 食事の内容は [複数回答]

○ドッグフード・・・・・・・・ 23件 (95.8%)

○家族のものと同じ・・・・ 1件 (4.2%) (肉料理を少量与える)

○その他・・・・・・・・ 10件 (41.7%)

[主な内容]

・キャベツと鶏レバー・鶏胸肉の水煮など。

・犬用のオヤツ・缶詰

(ク) 飼育していて困ったこと、現在困っていること

○ある・・・・・・・・ 16件 (66.7%)

[主な内容]

・人・犬・車に対して吠える・・・ 7件

・散歩時に引っ張る・・・・・・・・ 3件

・雷雨時にパニックになる・・・・ 2件

・トイレのしつけ・・・・・・・・ 2件

・臆病・・・・・・・・ 2件

・噛んでくる・・・・・・・・ 2件

○ない・・・・・・・・ 4件 (16.7%)

○回答なし・・・・・・・・ 4件 (16.7%)

(ケ) 不妊・去勢手術について

○センターにて手術済み・・・・ 18件 (75.0%)

[性別による内訳 ♂10件 ♀8件]

○受けた・・・・・・・・ 6件 (25.0%)

[性別による内訳 ♂3件 ♀3件]

(コ) 動物病院での受診経験は

○ある・・・・・・・・・・・・・・・・ 22件 (91.6%)

[主な内容] [複数回答]

- ・狂犬病注射 (3件) ・混合ワクチン接種 (9件) ・フィラリア予防 (7件)
- ・ノミダニ (2件) ・健康診断、相談 (4件) ・骨折手術・脱臼手術 (2件)
- ・体調不良等の治療のため (3件)・その他 (虫刺され・脇腹の痛み・後肢の腫れ)

○ない・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (4.2%)

○無回答・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (4.2%)

(サ) 今回犬を飼っての感想は [複数回答]

○よかった・・・・・・・・・・・・ 22件 (91.6%)

[主な理由]

- ・癒される・・・・・・・・・・・・ 6件
- ・とても可愛い・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・家族内に笑顔が増えた・・・・・・・・ 2件
- ・家族の会話が増えた・・・・・・・・ 2件
- ・散歩が楽しい・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・子供達に責任感が生まれた・・・・ 2件
- ・番犬・・・・・・・・・・・・・・ 2件

○悪かった・・・・・・・・・・・・ 4件 (16.7%)

[主な理由]

- ・分離不安
- ・吠えるので近所迷惑でないかと心配
- ・オスワリ・フセ等一般的なしつけができていない
- ・懐かない

(シ) お宅の犬はしつけが良い方だと思いますか。

○思う・・・・・・・・・・・・・・ 8件 (33.3%)

○思わない・・・・・・・・・・・・ 6件 (25.0%)

○わからない・・・・・・・・・・・・ 9件 (37.5%)

○回答なし・・・・・・・・・・・・ 1件 (4.2%)

(ス) センターで行っている「しつけ方教室」について

○参加した・・・・・・・・・・・・ 15件 (62.5%)

○参加したい・・・・・・・・・・・・ 5件 (20.8%)

○参加できない・・・・・・・・・・・・ 1件 (4.2%)

○参加したくない・・・・・・・・・・・・ 0件 (0.0%)

○知らなかった・・・・・・・・・・・・ 0件 (0.0%)

○回答なし・・・・・・・・・・・・ 3件 (12.5%)

(セ) 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

[主な内容]

- ・ペットの終生飼養に対する飼い主の自覚（6件）
- ・不妊去勢手術を行う（5件）
- ・野良猫に餌をあげない（2件）
- ・ペットショップやブリーダーで購入しないで、保護犬猫を飼ってほしい（2件）

(ソ) センターへの意見・要望

[主な内容]

- ・譲渡犬に出会えて感謝・お礼（5件）
- ・センターの活動や保護犬保護猫のことをたくさんの人にもっと知ってもらおう（4件）
- ・FacebookやInstagramなどSNSを活用し、センターの情報を発信してほしい（2件）
- ・1匹でも多くの犬や猫が新しい飼い主に巡り合うことを祈る（2件）
- ・土日にドッグランを利用したい（1件）

ウ まとめ

(ア) 譲渡の4条件（畜犬登録・狂犬病予防注射接種、適正飼養・終生飼養、不妊・去勢手術、飼養可住宅）である、畜犬登録及び狂犬病予防注射は95.8%、不妊去勢手術は100%の方が「済み」と回答している。未登録の1頭は11月に子犬を譲渡したものであり、春の集合注射の際に登録注射を行う予定である。

(イ) 飼育していて困ったこと、現在困っていることについては、「ある」と回答された方が66.7%あり、その主な内容は、「吠える」、「散歩時に引っ張る」等であった。そのため、しつけに関する継続的な指導助言が必要であることから、困った時は電話相談するよう伝えている。

(ウ) 飼い始めた感想については、22件（91.7%）の方が「よかった」と回答しており、その主な理由として「癒される」、「とてもかわいい」、「家族内に笑顔が増えた」、「家族の会話が増えた」等を挙げている。

一方、「悪かった」との回答が4件（16.7%）あり、その理由は「吠えるので近所迷惑でないかと心配」等であった。

(エ) センターで行っている「犬のしつけ方教室」への参加については、「参加した」15件（62.5%）、「参加したい」5件（20.8%）と回答していた。

また、「しつけ」については、33.3%の方が「良い方だと思う」としている一方で、25.0%の方が「思わない」と回答していた。「思わない」と回答した方については、今後犬のしつけ方教室を受講するよう指導していきたい。

(オ) センターへの意見・要望については、譲渡した犬に出会えて幸せな日々を送っているお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業に対して高評価を得ていた。

エ 総括

本アンケート調査は、平成30年度の譲渡者から実施しており、対象者は少ないものの回収率は比較的高く、譲渡事業の評価に有効な手段と思われる。

今回の調査結果を踏まえ、今後も地域で模範となる飼い主の育成を目指すこととする。

(2) 譲渡猫の飼養実態調査

ア 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した猫の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、次のとおり追跡調査を実施した（譲渡6カ月後）。

- (ア) 対象及び件数 平成30年度譲渡猫の飼養者48名、65頭
(♂26頭、♀39頭)

注：1家族に複数で譲渡していることもあるので、頭数の方が多くなる

- (イ) 期 間 平成30年4月～平成31年3月
(ウ) 方 法 封書によるアンケート各戸調査
(エ) 内 容 「飼養状況アンケート」
(オ) アンケート回収数（率） 59頭分（90.8%、 ♂23 ♀36）

イ 調査結果（単位：％）

- (ア) 現在飼育しているか [N=59]

- はい・・・ 59件（100.0%）
○いいえ・・・ 0件（0.0%）

- (イ) 動物病院での受診について

[以降N=59 ♂23 ♀36]

- 受診した・・・ 54件（91.5%）

[主な内容] [複数回答]

- ・ワクチン接種（25件） ・不妊去勢手術（13件） ・猫エイズ猫白血病検査（8件）
・健康診断（7件） ・その他（21件）

- 受診していない・・・ 5件（8.5%）

[主な内容] [複数回答]

- ・保険加入待ち（2件） ・体調を崩さないのので、次回のワクチン接種時にいく（1件）
・無回答（2件）

- (ウ) 不妊・去勢手術について

- センターにて手術済み・・・ 34件（57.6%）

[性別による内訳 ♂14件 ♀20件]

- 受けた・・・ 18件（30.5%）

[性別による内訳 ♂7件 ♀11件]

- 受ける予定・・・ 7件（11.9%）

[性別による内訳 ♂1件 ♀6件]

- 受けたくない・・・ 0件（0.0%）

- (エ) 所有者明示について

- 付けている・・・ 47件（79.7%）

[明示内容] [複数回答]

- ・マイクロチップ（37件） ・迷子札（21件） ・その他（2件）

- 付けていない・・・ 12件（20.3%）

(オ) 飼養方法について

- 完全室内飼育・・・・・・・・・・ 59件 (100.0%)
- 室内外飼育・・・・・・・・・・ 0件 (0.0%)

(カ) 主に猫の世話をする人は [複数回答]

- 妻・・・・・・・・・・ 51件 (86.4%)
- 夫・・・・・・・・・・ 26件 (44.1%)
- 子供・・・・・・・・・・ 24件 (40.7%)
- その他・・・・・・・・・・ 4件 (6.8%)

(キ) ケージの活用方法について [複数回答]

- 活用している・・・・・・・・・・ 46件 (78.0%)
 - ・就寝中24件 (52.2%) ・窓開放時24件 (52.2%)
 - ・留守中20件 (43.5%)
- 活用していない・・・・・・・・・・ 13件 (22.0%)
 - ・嫌がるため3件 (23.1%) ・猫部屋があるため3件 (23.1%)

(ク) 現在飼育している動物について

- 譲り受けた猫のみ・・・・・・・・・・ 36件 (61.0%)
- その他の動物がいる・・・・・・・・・・ 23件 (39.0%)

[複数回答]

- ・猫14件 (60.9%) ・犬4件 (17.4%) ・その他6件 (26.1%)

[猫との関係について]

- ・良好17件 (73.9%) ・距離を置いている5件 (21.7%)
- ・不仲 0件 (0%)

(ケ) 飼育していて困ったこと、現在困っていること

- ない・・・・・・・・・・ 47件 (79.7%)
- ある・・・・・・・・・・ 12件 (20.3%)

[主な内容]

- ・噛みつく・・・・・・・・・・ 2件

以下各1件

- ・トイレ以外での排泄 ・ケアが嫌い ・ケーブルを噛む ・ひっかく ・散らかす

(コ) 今回猫を譲り受けて [複数回答]

- よかった・・・・・・・・・・ 59件 (100.0%)

[主な理由]

- ・癒される・・・・・・・・・・ 18件
- ・2匹一緒によかった・・・・・・・・・・ 9件
- ・楽しい・・・・・・・・・・ 6件
- ・家族が増えた・・・・・・・・・・ 5件
- ・家族の会話が増えた・・・・・・・・・・ 5件

- 悪かった・・・・・・・・・・ 2件 (3.4%)

- ・長い外出が出来ない
- ・真菌症が先住猫に感染した

(#) 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

〔主な内容〕

- ・不妊去勢手術をする・・・18件
- ・責任を持って最後まで飼う・・・11件
- ・外に出さないこと・・・11件
- ・センターのことを周りの人に伝える・・・5件
- ・積極的に譲渡体験を話す・・・3件
- ・SNS等を使って幸せな姿を配信する・・・3件

(シ) センターへの意見・要望

〔主な内容〕

- ・譲渡猫に出会えて感謝、お礼・・・14件
- ・職員への労い・・・6件
- ・センターの存在を知ってもらいたい・・・4件

ウ まとめ

- (ア) 譲渡の条件（適正飼養・終生飼養、不妊・去勢手術、飼養可住宅）のうち、不妊去勢手術は88.1%の方が「済み」と回答しており、不妊去勢手術の実施予定が11.9%であった。また、完全室内飼育で飼養している方が100%であった。
- (イ) 飼育していて困ったこと、現在困っていることについては、「ある」と回答された方が20.3%であり、「ない」と回答された方が79.7%であった。
- (ウ) 飼い始めた感想については、100%の方が「良かった」と回答しており、その主な理由として「癒される」、「2匹一緒によかった」、「家族の会話が増えた」等を挙げている。一方、「悪かった」との回答も2件（3.4%）あり、その理由は「長い外出ができない」、「真菌症が先住猫に感染した」であった。
- (エ) 所有者明示について、79.7%の方が「付けている」と回答している一方で、20.3%の方が「付けていない」と回答している。「付けていない」と回答した方については、その必要性について今後説明していきたい。
- (オ) センターへの意見・要望については、譲渡した猫に出会えた感謝やお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業に対して高評価を得ていた。

エ 総括

本アンケート調査は、対象者は少ないものの回収率は比較的高く、譲渡事業の評価に有効な手段と思われる。

今回の調査結果を踏まえ、今後も地域で模範となる飼い主の育成を目指すこととする。

(3) 猫の適正飼養に関する調査

ア 調査の概要

- (ア) 対象及び件数 当該フェスティバル時に、センター設置の動物愛護事業啓発ブースに来場された方。回答件数100件。
- | | |
|-----------------|-------------|
| 猫を飼育している人からの回答 | 23件 (23.0%) |
| 猫を飼育していない人からの回答 | 77件 (77.0%) |
- (イ) 調査日時 令和元年10月5日(土) 10:45~15:00
「2019動物愛護フェスティバルふくおか」開催時
- (ウ) 調査場所 だざいふ遊園地(太宰府市宰府4-7-8)
- (エ) 調査方法 猫を飼育している、猫を飼育していない、を確認の上、それぞれ別のアンケート調査用紙にて記入を依頼
- (オ) 調査内容 「猫の適正飼養に関するアンケート」

イ 調査結果

(ア) 猫を飼育している人の回答 (23名)

① 飼育頭数

- ♂のみ飼育 13名 (56.5%)
- ♀のみ飼育 4名 (17.4%)
- ♂♀両方飼育 6名 (26.1%)

② 完全室内飼育を知っているか?

- 知っている 21名 (91.3%)
- 知らない 2名 (8.7%)

③ 飼育場所

- 完全室内飼育 23名 (100.0%)
- 外との出入り自由 0名 (0.0%)
- 完全外飼育 0名 (0.0%)

④ ケージを使用しているか?

- 使用している 7名 (30.4%)
- 使用していない 16名 (69.6%)

⑤ 排泄場所

- 室内の猫用トイレ 23名 (100.0%)
- 庭等の自己所有土地 0名 (0.0%)

⑥ 不妊去勢手術の有無

- している 21名 (91.3%)
- していない 2名 (8.7%)

⑥-1 不妊手術と去勢手術の割合

- ♂の飼育者 13名中11名 (84.6%)
- ♀の飼育者 4名中4名 (100.0%)
- ♂♀両方飼育 6名中6名 (100.0%)

⑦ 所有者明示

- している 7名 (30.4%)
- 何もしていない 15名 (65.2%)
- 不明 1名 (4.3%)

⑧ 災害時の同行避難の準備

- している 17名 (73.9%)
- していない 6名 (26.1%)

⑧-1 準備していること[複数回答]

- ・キャリーバッグに慣らしている 12名
- ・数日分のエサ、水、猫砂等を準備している 9名

⑨ 野良猫にエサだけを与えることについて

- 賛成 2名 (8.7%)
- 反対 10名 (43.5%)
- わからない 11名 (47.8%)

⑩ 処分を減らすために[複数回答]

- ・野良猫の不妊去勢手術をする 10名
- ・ペットショップではなく保護猫を飼う 3名
- ・無責任な餌やりをなくす 2名
- ・その他 8名

(イ) 猫を飼育していない人の回答 (77名)

① 猫が好きか嫌いか

- 好き 53名 (68.8%)
- 嫌い 4名 (5.2%)
- どちらでもない 20名 (26.0%)

② 完全室内飼育について

<全体 (77名) >

- 賛成 49名 (63.6%)
- 反対 7名 (9.1%)
- どちらでもない 21名 (27.3%)

<猫が好きな人 (53名) >

- 賛成 33名 (62.3%)
- 反対 6名 (11.3%)
- どちらでもない 14名 (26.4%)

<猫が嫌いな人 (4名) >

- 賛成 2名 (50.0%)
- 反対 0名 (0.0%)
- どちらでもない 2名 (50.0%)

<どちらでもない人（20名）>

- 賛成 14名（70.0%）
- 反対 1名（5.0%）
- どちらでもない 5名（25.0%）

②-1 賛成の理由

- ・病気や怪我の防止のため
- ・室内は交通事故に合わないので安全
- ・近隣トラブルにならないため(糞害など)
- ・外に出すと近所に迷惑がかかるから
- ・外で飼うと野良猫になったり、子猫を産んだりするから
- ・外より家の中の方が猫が安全だから

②-2 反対の理由

- ・家の中だけでは不健康
- ・ストレスがたまるから

②-3 どちらでもない理由

- ・外に出ると病気や事故が心配だけど、室内だけだとストレスが心配
- ・お散歩程度ならOKかと思う
- ・地域猫が成功している事例が近所にあるから
- ・飼い主がマナーを守っていればよいと思う

③ 野良猫にエサだけ与えることについて

<全体（77名）>

- 賛成 4名（5.2%）
- 反対 52名（67.5%）
- どちらでもない 21名（27.3%）

<猫が好きな人（53名）>

- 賛成 2名（3.8%）
- 反対 33名（62.3%）
- どちらでもない 18名（34.0%）

<猫が嫌いな人（4名）>

- 賛成 0名（0.0%）
- 反対 3名（75.0%）
- どちらでもない 1名（25.0%）

<どちらでもない人（20名）>

- 賛成 2名（10.0%）
- 反対 16名（80.0%）
- どちらでもない 2名（10.0%）

③-1 賛成の理由

- ・かわいそうだから
- ・その後計画的に避妊手術の手掛かりになるため

③-2 反対の理由

- ・餌だけ与えていても猫が増え続けるだけ
- ・餌をあげるなら責任をとるべき
- ・子猫が増えないようにしないと可哀そう
- ・庭に糞をされて困っているから
- ・餌だけあげるのは無責任だから
- ・猫が増えると大変だから
- ・餌を道にばらまかれ汚されたから

③-3 どちらでもない理由

- ・餌やりさんの気持ちもわかる
- ・猫が可哀そうだから
- ・地域環境による
- ・増えすぎても嫌だけど、死んでも嫌だから

④ 困っていること

- ある 33名 (42.9%)
- ない 44名 (57.1%)

④-1 困っていること (複数回答可)

- 敷地内への排便 15名
- 敷地内への侵入 12名
- 車上への爪かき 8名
- 鳴き声 8名
- その他 7名

④-2 困っている猫 (複数回答可)

- 飼い猫 8名 (24.2%)
- 野良猫 19名 (57.6%)
- わからない 8名 (24.2%)

⑤ 処分を減らすために (複数回答可)

[主な内容]

- ・不妊去勢手術をする 18名
- ・責任を持って最後まで飼う 11名
- ・野良猫に餌をやらない 8名
- ・餌やり禁止条例等法整備 6名
- ・完全室内飼育をする 4名
- ・野良猫に新しい飼い主を見つける 3名
- ・地域猫を進める 2名

ウ まとめ

【猫の飼育状況について】

(ア) 猫を飼育している人23名中、♂又は♀のみ飼育している人は17名いた。

♂♀両方を飼育している人は6名おり、複数頭飼う場合も性別に関係なく飼育していた。

- (イ) 猫の完全室内飼育は23名で、全員（100%）が完全室内飼育を行っていた。
これは、完全室内飼育の必要性についての啓発の効果と考えられる。
- (ウ) 不妊去勢手術については、飼育している23名中、21名が実施していた。♂♀両方を飼育している6名は全員、また♀のみを飼育している4名も全員不妊去勢手術を行っており、♂のみを飼育している2名が去勢手術を行っていなかった。
- (エ) 所有者明示していない人が15名（65.2%）いた。交通事故による死亡も含め、家に帰れない飼い猫の数が多いことを考慮すると、迷子札及びマイクロチップを装着する等の必要性についてさらに啓発していく必要がある。
- (オ) 災害時における同行避難に関しては、23名中6名（26.1%）の飼い主は対策を講じていないことから、その必要性についてさらに啓発していく必要がある。

【猫に関する意識について】

- (ア) 猫を飼育していない人77名中、猫が好きと答えた人は53名（68.8%）、嫌いだと答えた人は4名（5.2%）、どちらでもない人は20名（26.0%）であった。
- (イ) 完全室内飼育について、猫を飼育していない人77名のうち49名（63.6%）が賛成と答え、猫が好きと答えた人53名中33名（62.3%）が賛成であった。賛成の理由は、病気や怪我の防止のため、室内は交通事故に合わないのが安全、近隣トラブルにならないため（糞害など）、外に出すと近所に迷惑がかかるから等であった。また、反対と答えた人は77名中7名（9.1%）で、その理由は、家の中だけでは不健康、ストレスがたまるからであった。どちらでもないと答えた人が77名中21名（27.3%）であり、反対とどちらでもないと答えた人を合わせると28名（36.4%）になることから、正しい知識の普及啓発が必要である。
- (ウ) 野良猫にエサだけを与えることについて、猫を飼育している人23名中10名（43.5%）、飼育していない人77名中52名（67.5%）が反対と答えており、全体（100名）でも62名（62.0%）の人が否定的であった。
- (エ) 猫を飼育していない人77名中、猫のことで困っていることがあると答えた人は33名（42.9%）で、困っていることは、敷地内への排便15名及び侵入12名で敷地内に関するが多かった。困っている猫は、飼い猫が8名（24.2%）、野良猫が19名（57.6%）であった。このことから、野良猫にエサだけを与えることに賛成している人に対して、エサやりによる弊害を丁寧に説明していくことが必要である。

エ 総括

動物と人との共生を図っていくためには、猫の完全室内飼育及び不妊去勢手術の必要性を柱とする適正飼養に関する普及啓発活動をさらに推進していくことが肝要である。

4 動物愛護・管理支援事業

(1) 動物の収集及び管理に関する事業

ア 収集、譲渡及び致死処分状況

単位：頭

区 分		犬	猫	その他	計
① 前年度からの繰り越し		7	1	0	8
収 集	②保健福祉（環境）事務所等からの捕獲犬及び引取犬・猫	384	906	0	1290
	③保健福祉（環境）事務所等からの負傷動物	34	172	0	206
	④ 収集計（②+③）	418	1078	0	1496
譲 渡	⑤ センター譲渡	33	58	0	91
	⑥ 譲受団体譲渡	213	169	0	382
	⑦ 譲渡計（⑤+⑥）	246	227	0	473
⑧ 致死処分計（①+④-⑦-⑨）		175	850	0	1025
⑨ 翌年度への繰越		4	2	0	6

イ 致死処分方法の検討

本年度、炭酸ガスによる致死処分以外の方法を検討するため、一部の犬猫に対して致死量の麻酔薬投与による致死処分を実施した。

○犬 3頭（成犬2頭、子犬1頭）

○猫 11頭（成猫4頭、子猫7頭）

(2) 犬及び猫の譲渡事業

致死処分数の減少を図るとともに、地域における模範的飼養者の育成及び適正飼養の普及啓発を図るため、センターにおいて保管・管理している、健康で家庭動物として適正のある犬及び猫について、譲渡を行った。

ア 譲受希望者への犬の譲渡（センター譲渡）

犬の譲受希望者に対しては、事前講習会の受講を義務づけるとともに、譲受希望者には面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡犬については5種感染症ワクチン等を接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(7) 「これから犬を飼う人のための講習会」(事前講習会)

センターから犬の譲渡を希望される方に対し、講習及び面談を実施した。

- ・ 講習 「あなたは本当に犬が飼えますか?」、「犬を迎える準備」
- ・ 面談 犬の飼養環境調査表(譲受希望者記入)等に基づく聴取。
- ・ 開催状況

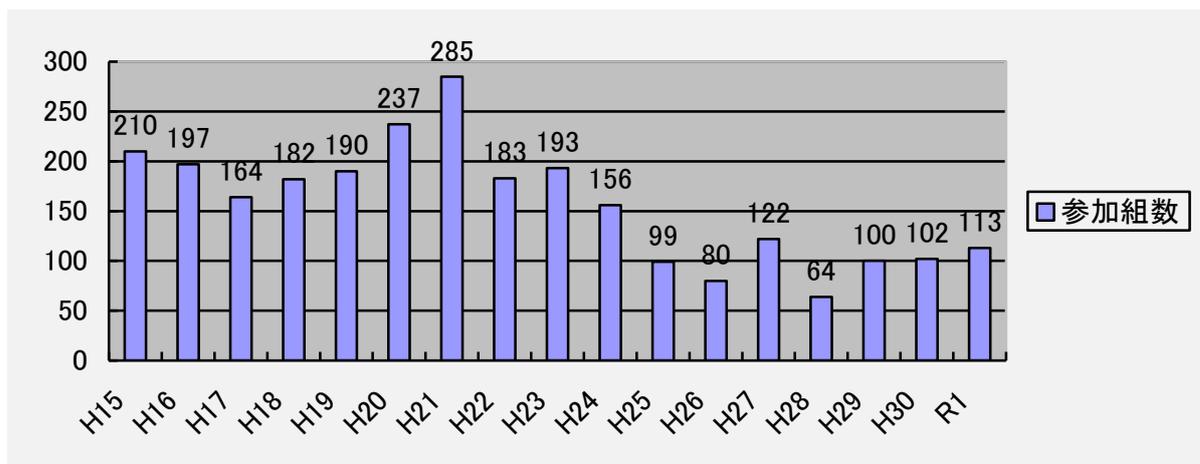
月日(曜日)	受講者数	組数	見学者数
4月 3日(水)	4名	1組	3名
4月21日(日)	12名	5組	
5月 8日(水)	14名	9組	
6月 5日(水)	13名	7組	
6月16日(日)	13名	6組	
7月 3日(水)	6名	6組	
7月21日(日)	9名	4組	
8月 7日(水)	4名	3組	1名
8月18日(日)	9名	5組	
9月 4日(水)	3名	2組	
9月15日(日)	13名	5組	
10月 2日(水)	12名	8組	2名
10月20日(日)	24名	10組	
11月 6日(水)	3名	2組	
11月17日(日)	6名	4組	
12月 4日(水)	3名	2組	1名
12月15日(日)	9名	4組	
1月19日(日)	9名	5組	
2月 5日(水)	6名	3組	
2月16日(日)	29名	13組	
3月 4日(水)	9名	5組	
3月15日(日)	10名	4組	
合計	220名	113組	7名

※事前講習会の定員は20名、3月は5組

(事前申込み制)

開催時間 水曜日は13時30分から16時、
日曜日は9時30分から12時。

(イ) 事前講習会参加組数の推移



(ウ) 事前講習会での面談結果及び譲渡状況

- ・事前講習会での面談組数は、受講者組数 113 組のうち 108 組であった。
- ・面談の結果、譲渡可は 5 組、条件付譲渡可は 93 組、譲渡不可 10 組だった。

(エ) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 電話によるフォローアップ（譲渡 10 日後）
- 家庭訪問（譲渡 4 カ月後）
- 郵送によるアンケート調査（譲渡 1 年後）

イ 譲受希望者への猫の譲渡（センター譲渡）

譲受希望者には随時の個別面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡猫については 3 種感染症ワクチンを接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(ア) 個別面談数

71 組

(イ) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 郵送によるアンケート調査（譲渡 6 ヶ月後）

ウ 犬及び猫の譲渡状況（センター譲渡）

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
15	18	5	53	91

エ 市町村別譲渡頭数（成犬・子犬・猫）

単位：頭

事務所名	市町村名	成犬	子犬	猫	事務所名	市町村名	成犬	子犬	猫			
筑紫 保健福祉環境事務所	筑紫野市		1	3	北筑後 保健福祉環境事務所	朝倉市	1					
	春日市		1	4		小郡市		1				
	大野城市	1		1		うきは市						
	太宰府市	1				筑前町			1			
	那珂川市		1			大刀洗町						
粕屋 保健福祉事務所	古賀市	1	1	8	南筑後 保健福祉環境事務所	東峰村						
	宇美町					柳川市		1				
	篠栗町		1			みやま市						
	志免町			1		八女市		1				
	須恵町		1			筑後市						
	新宮町		1	3		大川市						
	粕屋町		1	1		大木町	1					
久山町				広川町								
糸島保健福祉事務所	糸島市		1		京築 保健福祉環境事務所	行橋市						
宗像・遠賀 保健福祉環境事務所	宗像市		2	7		豊前市						
	福津市		2	3		みやこ町	1					
	中間市	1				苅田町						
	芦屋町					吉富町						
	水巻町					築上町						
	岡垣町	1				上毛町						
嘉穂・鞍手 保健福祉環境事務所	遠賀町				北九州市 動物愛護センター	北九州市			1			
	飯塚市			3		福岡市 動物愛護管理センター	東区	2		5		
	嘉麻市	1					博多区					
	桂川町		1				中央区			3		
	直方市			3			南区	1		4		
	宮若市	1	1				城南区					
鞍手町				早良区								
田川 保健福祉事務所	小竹町			2	大牟田市 動物管理センター	西区			3			
	田川市			2		大牟田市	大牟田市					
	香春町				久留米市 動物管理センター		久留米市					
	添田町	1										
	糸田町				令和元年度譲渡数							
	川崎町	1								成犬	子犬	猫
	大任町									15	18	58
福智町												
赤村												

オ 譲受団体への譲渡

センターの登録基準を満たした団体に対し、当該団体が希望する犬猫を譲渡した。

※登録基準：福岡県犬及びねこの団体譲渡に係る要領（平成22年5月26日施行）

(7) 登録譲受団体数

25団体（令和2年3月31日現在）

(イ) 犬及び猫の譲渡状況

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
175	38	41	128	382

(3) 譲渡動物への不妊去勢手術

生後3カ月齢以上の譲渡動物を対象に実施した。

・不妊去勢手術の実施状況 単位：頭

	メス	オス	合計
犬	13	7	20
猫	16	43	59
合計	29	50	79

(4) 福岡県獣医師会の支援診療

県獣医師会支援事業により、3回3頭の支援診療を受けた。

(5) マイクロチップの装着（譲渡動物を対象）

犬29頭、猫59頭に装着。

(6) 施設の保守及び管理業務

建物・施設、財産の適正な維持管理に必要な業務を行った。

5 動物愛護週間事業等

動物愛護週間は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正飼養について関心と理解を深めるために設けられたもので、センターでは次の事業を行った。

(1) 動物慰霊祭及び講演会

- ・ 開催日 10月16日(水)
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(古賀市)
- ・ 内容
 - (a) 動物慰霊祭
 - (b) 動物愛護講演会
 - 演題 「動物愛護管理法の改正について」
 - 講師：主任技師 山住雅之 福岡県保健医療介護部生活衛生課
- ・ 参加者 83名

(2) 2019動物愛護フェスティバルふくおか

開催日及び場所 10月5日(土) だざいふ遊園地(太宰府市)

(3) 街頭キャンペーン等への参加

街頭キャンペーン(粕屋保健福祉事務所と合同で実施)

- ・ 日時 11月5日(火) 13:30~15:00
- ・ 場所 イオンモール福岡